

vol. 2308

【発行】大分県高等学校教職員組合教宣部 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館
TEL / (097) 556-2838 FAX / (097) 556-8998 MAIL / ohtwu@view.ocn.ne.jp

大分県高教組情報

【発行者】大野 真二 【印刷】(株)佐伯コミュニケーションズ 【売 価】30円(組合員の購読料は組合費の中に含んで徴収しています)



今号の掲載内容 (掲載順)

- 第54回 九協組織運動交流集会
- 日教組学校図書館全国集会 還流報告

第54回 九協組織運動交流集会

とき：10月7日(土)・8日(日)

ところ：水前寺共済会館グレースシア

第54回九協組織運動交流集会が開催され、大分高教組からは6名が参加しました。九州の仲間が集い語る、有意義な時間を過ごすことができました。

この集会は、①九協の連帯と強化を図る②競争主義・能力主義と管理主義教育の実態を明らかにし、民主的な職場づくりと現場からの教育改革運動を通じて組織拡大・強化を図る③能力・実績主義人事管理を強化する教育政策に対し、情勢的確な把握ととりくみの進め方の共通認識を図る④各県における分会・支部・本部・専門部のとりくみを交流し、その後の各単組のとりくみの強化を図る、を目的として開催されています。

全体会后、6つの分散会に分かれ、各単組や支部・専門部の組織化のとりくみについて、レポートをもとに議論をしました。大分高教組からは、佐藤新太郎さん・佐枝佑哉さんが第3分散会で「大分工業高校における組織化運動に対する一考察～ベテラン組合員の声かけが、同僚組合員の意識を呼び覚まし、新規組合加入につなげた～」と題し、佐枝さんが加入した経緯も含めて、大分工業分会での組織拡大・強化のとりくみ、について、レポート報告をしました。

〈参加者還流報告〉

各県のとりくみを、聞く中で参考になるアイデアがたくさんありました。ひとつ紹介すると、組合費の説明です。月額で考えると「ちょっとお高め…」と思う方は、時給に対する組合費の割合で考えると割合が低く、それで組合員の安心や生存危機の回避(大袈裟!!)が得られるならお得です。というものでした。でも、いろいろ聞きながらも、ときどきでてる「組合のメリット」という言い回しに違和感がありました。組合って商品やサービスを消費するものではないよな?とモヤモヤしました。それをわかってくれる方を増やすアイデアを考えねば、と思う時間でした。

(大分舞鶴分会 山野寿美)

私が参加した分散会は、沖縄高教組と長崎県教組からレポート発表がありました。どちらのレポートも組織拡大・強化の具体的なとりくみが報告されました。討論ではレポートへの質問や各単組の現状報告など有意義な意見交流ができました。中でも共同研究者からの「組織拡大には声かけと語り込みと計画を立てて組織で動くことが重要」ということが印象に残りました。今回の集会で得られたことを、大分高教組に少しでも還元できるようにしていきたいと思えた2日間でした。

(大分豊府分会 伊藤洋敏)

労働組合も斜陽であることくらいはだれでも知っている。にもかかわらず本交流会には熱心な人々がたくさんいた。最近の西武労組のストライキ等を見ても、日本そして世界の中でにわかには活発化している。労働組合はまだまだやれることがありそうだ。

大分県教組（大分県内の小・中学校の教員組合）は昔ほどでもないというが、依然、高い組織率を維持している。それに対して、他県は低水準である。しかし低水準であるがゆえに交渉も人事もすんなりと要求通りとなることが多い、という。

私はここで疑問を持った。「それではなぜ？組織率が高まらないのだろうか？」と。人々は労働組合に期待しなくなったのか、裕福になり求めるものがなくなったのか…。その両者かもしれない。

日本財団「18歳意識調査」第20回 テーマ:「国や社会に対する意識」(9カ国調査)によれば、日本の子どもたちは諸外国に比べて「夢」や「解決したい社会課題」を持っていないし、「自分は責任ある社会の一員である」とも思ってもいない。「自分で社会や国を変えられる」なんて夢物語とさえ思っている。

このままで良いはずはない。子どもの未来を預かるのは私たちである。労働組合は世の中をより良い方向に進めるためのキャスティングボートになり得る存在だと思う。

(大分工業分会 佐藤新太郎)

目教組学校図書館全国集会 還流報告

と き: 8月20日(日)

と ころ: 日本教育会館

2023年度学校図書館全国集会にはじめて参加をさせていただきました。初参加ということで緊張しましたが、学ぶことが多い2日間でした。

片岡則夫先生よりの問題提起があり、そのあとの分散会では、第2分科会「学校図書館教育実践のとりくみ」に参加をし、3本のレポート発表がありました。

どれもすばらしい発表でしたが、特に「図書館活用のスモールステップ」はすぐにも取り入れることができる内容で、日ごろの図書館運営の参考にしたいと感じました。

(学校司書部 宇佐産業科学分会 毛井成美)